



議会だより

しせん



祝 ご出産のめでたうございます

伊仙町子育て支援金 贈呈式

伊仙町役場

支援課



伊仙町子育て支援金 贈呈式

令和6年7月11日

第82号

発行 伊仙町議会

〒891-8293

大島郡伊仙町伊仙1842

事務局 ☎ (0997) 86-3150

編集 議会広報編集委員会

印刷 株式会社 鹿嶋美新



令和6年第2回定例会

議案審議結果	2P
一般質問	3～8P
農山漁村調査特別委員会調査報告	9P
補正予算主な議案について	10～11P
自治功労者表彰・議長の動静・編集後記	12P

令和6年第2回定例会 (6月11日~14日) 議案・審議・議決結果

議案番号	件名	議員名(議席番号順)													議決結果
		井上和代	久保量	大河善市	杉山肇	牧本和英	佐田元	清平二	岡林剛也	上木千恵造	永田誠	福留達也	樺山一	美島盛秀	
請3	東目手久青少年会館の建替えに関する請願	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一部採択
承1	令和5年度伊仙町一般会計補正予算(第9号)の専決処分の承認	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	承認
議32	伊仙町堆肥センター堆肥散布車購入契約の締結	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	可決
議33	伊仙町男女共同参画推進条例の一部を改正する条例	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決
議34	伊仙町特別養護老人ホーム「仙寿の里」設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決
議35	伊仙町観光公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決
議36	伊仙町水道給水条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	可決
議37	伊仙町過疎地域持続的発展計画の一部変更	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決
議38	伊仙町辺地総合整備計画の一部変更	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決
議39	喜念浜園地ロッジ指定管理者の指定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	可決
議40	令和6年度伊仙町一般会計補正予算(第1号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決
議41	令和6年度伊仙町介護保険特別会計補正予算(第1号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決
議42	令和6年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計補正予算(第1号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決
陳4	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	採択
発2	少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決

令和6年第3回定例会 (7月30日) 議案・審議・議決結果

議案番号	件名	議員名(議席番号順)													議決結果	
		井上和代	久保量	大河善市	杉山肇	牧本和英	佐田元	清平二	岡林剛也	上木千恵造	永田誠	福留達也	樺山一	美島盛秀		前徹志
承2	令和6年度伊仙町一般会計補正予算(第2号)の専決処分の承認	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決	
同2	教育長の任命	投票による表決(投票総数13票 賛成6票 反対6票 無効票1票)													-	不同意
議43	令和6年度伊仙町一般会計補正予算(第3号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決	

【表の見方】 承:承認 同:同意 議:議案 請:請願 陳:陳情 発:発議 ◎:全会一致 ○:賛成 ×:反対 欠:欠席 -:表決権なし

令和6年 第2回定例会

一般質問



榎山 一 議員

教育行政について

問 学校給食センターの建設計画が予定されているが、現在の進捗状況について問う。

答 (給食センター所長) 現地建て替えを検討するにあたり、崖近くの建築規定の問題が生じ、繰越免許費予算で現地の測量を行った。その結果、現在の敷地内に新しい建物を建設できるということが分かった。令和6年は、隣の土地所有者への用地交渉をさらに進め、建設用地を定

め、それに見合う建設の規模や設計について給食センター建設推進協議会の中で協議していく。

要望 全国でも2番目に伊仙町の給食センターは古

いと聞いていたので、設計計画を順調に進めて、早期の建替えを希望する。



現在の伊仙町立学校給食センター

問 教育長を任命するにあたり、任命者の基本的な考え方について問う。

(町長)

答 リーダーは、まず人格とリーダーシップがあるということが最低必要である。また、地元出身者が教育長として島内の歴史、そして、子どもたちのことをよく知っていることも含めると、地元の方が必要ではないかということを経験的な考えとしている。

問 教育長の服務について、教育長を辞して、町長選挙へ出馬すると聞いている。また、数名の方に指示依頼を行っている様であるが、教育長として服務違反になると思われるが考えを問う。

答 (教育長) 公職選挙法に抵触するということとは教育長であつても教育長でなくとも、選挙の事前活動は行うことは禁止されていると認識している。票の依頼をす

る公職選挙法に違反するような行為は一切していないと捉えている。

問

教育長を辞して令和7年10月施行の伊仙町選挙に出馬予定があるのか、ないのか問う。

(教育長)

答 私自身の中では、子宝の島にふさわしいような伊仙町の教育をさらに拡大していきたい思いがある。そのためには、教育長ではなく広い範囲からさらに伊仙町全体を見通せる範囲の中で伊仙町の教育について考え、子どもたちがいろいろな教育の保証を受けながら、未来に夢を抱くような伊仙町はどうあるべきかということ考えた時に、教育長の職にとどまらず、より広い範囲で物事を捉えていくというのは、一つの考え方として思っている。

伊仙町役場新庁舎建設について

問 役場新庁舎建設の進捗状況及び今後の予定について問う。また、2期工事で電気・設備分割発注はできないのかを問う。

(総務課長)

答 令和5年伊仙町役場新庁舎新築工事2期地盤改良工事については、令和6年6月7日で完了している。新庁舎新築工事2期建築本体工事については、4月25日に発注をしており、5月24日開札を行ったが不

落、5月27日の再入札は、不調となっている。今後のスケジュールとしては、6月末までに再積算を行い、発注準備として7月上旬を予定している。工事全体として完成予定が令和7年6月末を目指して進めていく予定である。また、電気・設備分割発注については、設備を含めて建築一式で発注しており、現在再積算をしているところであるが、積算の段階で検討する余地があれば検討していきたいと考えている。



久保 量 議員

畑地帯総合整備事業及び畑地かんがい整備事業について

問 町内における畑かん整備事業の進捗状況と整備計画及び同意取得率について問う。

答 (耕地課長) 進捗率については、伊仙町内で882ha計画されており、令和6年3月末現在で291ha、約33%の進捗となっている。整備計画においては、今現在、町内で8地区の畑かんの整備を行っているが、最終的な地区が昨年から令和8年頃までのパイプライン工事が始まり、令和12年にかけて圃場内工事を計画

している。そのほか7地区に関しては、令和8年から令和9年度を完了予定としている。次に、同意取得率については、意向確認済が700ha、現在78・8%、うち同意が514ha、57・9%、不同意が128ha、14・4%である。



問 西部地区における新規畑総整備事業の可能性について問う。

答 (耕地課長) 現在、馬根地区から畑総圃場整備の要請が

あり、令和10年に計画を立てて12年に申請する予定となっている。また、西部地区に関わらず、町内ではまだ整備可能な地区が残っている。地元からの要望があれば今後、説明会等も含め進めていきたいと考えている。

問 堆肥センター運営について、現状と今後の計画を問う。

答 (町長) 令和6年の3月議会において審議された令和6年度当初予算において、辺地計画については否決、当初予算については、当該事業(堆肥ペレット化)の予算が削除され、事業の実施見込みがなくなったことは、本事業の予算措置において、国の段階から尽力された関係者の方々、また、ペレット化を待ち望んでいた多くの農家の方々に対し大変申し訳なく思う。現在

は、経済課に対し、新たな事業の獲得を模索し計画をするよう指示しているところである。4・5年かけて努力して積み上げてきた事業が否決されたということは、伊仙町の歴史の中でも大変な汚点を残したのではないかと考えている。町民の皆様もこのことをしっかりと理解していただいて、再度あらゆる事業を模索して、町としては今後とも努力していく。

(経済課長)

本事業に改めて公募することができないかということについては、3月議会のことについては、3月議会の後、県・国のほうから3次公募の開始の案内があったが、予算確保が困難な点、また、事業完了が年度内に見込めない点から申請を見送っているところである。今後の事業計画(ペレット化)については、令和8年度に実施設計、令和9年度から事業が実施できる可能性のある事業が1つあり、その事業で計画書を作

成していきたいと考えている。

要望

農家の皆さんは今まさに肥料を含めた生産資材の価格高騰などのおりを受けて、窮地に立たされているのが現状ではないかと思う。経済課においては、こうした農家の声をしっかりと受け止め、各種事業を活用しながら再度、堆肥のペレット化の事業計画を推進するとともに農家へ様々な支援に努めるよう要望する。





美島 盛秀 議員

大久保町政の姿勢について

問 次期町長選挙へ出馬しないと第1回定例会で突然発表したが、その真意について問う。

答 (町長) 私は幼少期から、島に帰ってきてきて診療所で働こうというのを決意しており長い間、島の医療に関わってきた。色々な事情で県議会選挙、さらに伊仙町長選挙という形になって、伊仙町長として現在6期目である。今年70歳になるのでこれを機会に当初の志を貫くためにも島の医療に尽くしていきたい、もっと人口が増えるような島にしていきたいと思いい決断した。ま

た、家族の問題を含めた諸事情であることも町長を退く一つの理由でもある。第二の人生を初心に帰ってやっていくというのも本音である。早期に辞職する考えについてはなく、任期を全うして辞職する。

教育行政について

問 伊田教育長は、大久保町長の後継者として来年10月の町長選挙への出馬を予定し行動しているようであるが、教育長としての責務を問う。

答 (教育長) まず、後継者という言葉があるが疑問に思う。町長職を決めるのは町民の選挙によって決定され、これを一職員や一個人が後継者として名乗りを挙げたり、後継者として指名されたりすることはあり得ないと思うし、あつてはならないと捉えている。島全体、伊仙町全体から

教育の方向性をさらに充実させるための取組みを考えるとという意向もあり、辞する時期については、自身の総合的な判断の中で決めていきたいと考えている。

農業政策について

問 堆肥センターの運営状況について問う。

答 (経済課長) ①実績として、春植え②地球温暖化による作物への影響があると考えられるが、今後の農業振興をどのように考えているのか問う。

①春植え、夏植えに対する堆肥や化学肥料の助成計画について問う。

②地球温暖化による作物への影響があると考えられるが、今後の農業振興をどのように考えているのか問う。

せていただいた。夏植えについても、現在、堆肥・化成肥料の助成事業を計画している。

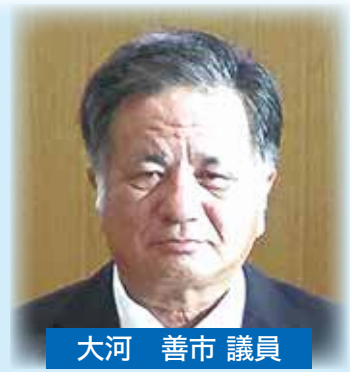
②地球温暖化については、世界的な問題であるため、一概に町として問題提起するのは難しい問題となつていくが、温度障害による病害の発生等は必ず起こり得るとされている。国が示すSDGsであったり、緑の食糧システム戦略等のなかでやはり化学肥料を低減させていく、堆肥等の資源をしっかりと活用していく、そういったことにより病害を発生させない土づくりが重要であると指針が出されているので、これらに基づいて今後も堆肥のペレット化を推進していきたいと考えている。

(ぎゅらまち観光課長)

令和2・3年度に環境省の地域脱炭素実現に向けた再エネ最大限導入のための計画づくり支援事業を活用して、2年間の計画づくりの基礎調査を実施してい

る。この計画を2年以内に地球温暖化対策実行計画区域策編という形で、どのような再生化エネルギーによって二酸化炭素やメタンガスが減らすことができるかという計画と、町内にある工場やクリーンセンターなど二酸化炭素を多く出すであろう事業者など、検討会を持って2050年までに実現可能な計画づくりを策定していく予定である。





大河 善市 議員

住宅整備計画について

問 公営住宅及び定住促進住宅整備計画について問う。

(建設課長)

答 過疎地域集落再編整備事業計画の変更で、上検福地区の用地購入予算をカットした経緯がある。整備計画を進め、早い段階で上検福住宅整備が可能と考えており、計画が執行可能な段階で再上程したいと考えている。

問 阿三カシナトウ団地の今後の整備計画について問う。

(建設課長)

答 令和4年度の団地全体基本計画で現在整備された1棟3戸2DKタイプ、6棟を整備するイメージとなっている。

これから整備する部分についての設計は今後発注する予定で、構造や規模などは未決定になっている。また、詳細計画については、これから設計するものである。浄化槽規模等の整合性を図りながら3DKタイプも考慮して設計に取り入れていきたいと考えている。今後のスケジュールとしては、令和6年度に既存住宅3棟6戸の解体、残地整備後に住宅の設計を行い、令和7年度から8年度に住宅整備を進めていく予定である。

農家支援事業について

問 さとうきび農家支援事業の資材購入助成について問う。

(経済課長)

答 春植え・夏植え農家で肥料申込申告受付をして、予算が余った時に株出農家を対象に予算の範囲内で受け付け順に農家へ肥料購入助成を実施しているが、より多くの農家の方々に支援を行えるよう補助対象面積の上限を設けていく方向で話し合いを行っている。



子育て支援について

問 子宝の町としての婚姻・出産・子育て支援策について問う。

(くらし支援課長)

答 婚姻届、出生届の際に、フォトフレームや命名書等の記念品を贈る準

備を進めており、早ければ7月にはサービスを開始していきたいと考えている。

問 保育料無償化について問う。

(子育て支援課長)

答 保育料軽減に関する事業等がないかなどを含めて今後協議し、令和7年もしくは令和8年度の実施に向けて取り組みたいと考えている。今年度より、出

産祝い金の増額や各種事業の継続をしながら、保育料の無償化に向けても取り組み、切れ目のない支援を行い、子育て支援をさらに強化していきたいと考えている。

要望

保育料の無償化について、子育て世帯に切れ目のない支援により出生者数の増加に寄与する施策であるので、令和7年度からの実施を要望する。



7月からスタートした、出生届時の記念品贈呈のようす



清 平二 議員

職員の給与について

問 本町のラスパイレス指数は鹿児島県で最下位のようにあるが、改善計画はあるのかを問う。

(総務課長)

答 ラスパイレス指数については、本町は、89・3%であり、県内市町村の平均は97%ということとで7・7ポイントの差がある状況である。ラスパイレス指数の低さを改善するためには、短期間での改善は困難であり、中長期的な改善が必要になる。計画として、本町では、定員管理計画、定員管理適正化計画を策定しており、本年度までが実施期間となっており、

り、本年度中にまた新たな改定を行う予定である。職員の計画的な採用及び職員年齢の標準化について検討を行うっていく事がラスパイレス指数の改善につながるものと考えている。特に、職員の年齢の標準化においては、新規職員採用の年齢制限や年齢の検討など、職員の年齢別構成表を検討した上で、新規採用職員を任用することにより中長期的なラスパイレス指数の改善につながるものと考えている。

また、質問の中であった、近年においての、若年退職者数及び現在の病休取得者数については、令和元年から令和5年までの自己都合による退職者は、20代(1名)、30代(6名)、40代(5名)、50代(6名)である。病休取得者については、現在はいない。

(町長)

ラスパイレス指数だけでなくその町の魅力があるかどうかというのは、決してそう

ではないと思う。昇給の仕方、職員の意欲が非常に重要であると思う。何事にも挑戦していくことや、この伊仙町の農業政策を若い職員が自分の力で変えていくくらいの気合いのある人はやはり昇給するだろうし、みんなが同じような能力があり、同じような志があるわけではないが、そのところをしっかりと加味した形での昇給体制は、あらゆる組織で行われている状況である。今後、ラスパイレス指数を上げるように職員全体、伊仙町議会も含めて努力をしていけば、必ず実現できると期待している。あと1年半では、難しいと思うがアドバルーンだけ上げていかなければいけないと考えている。

要望

職員は伊仙町の宝であるので、ラスパイレス指数を高め、優秀な職員を募集し、若年退職者や病休職員などを改善し、町民から尊敬できる伊仙町づくりを進めるよう要望する。

基金積み立てについて

問 積み立てられた基金に関し、今後の活用計画を問う。

(総務課長)

答 それぞれの基金において、その条例に定められた基金の運用を行っている。財政調整基金については、災害復旧地方債の繰上償還、その他、財源不足が生じたときに備え決算剰余金の積立による適切な積増しを行う一方、取崩しを極力抑制するなど基金残高については、一定額を確保できるように財政運営を図っていく。



議会を傍聴してみませんか

次回の定例会(第4回)は、12月10日(火)から予定しております。

第4回定例会におきましても、「YOUTUBE LIVE」でのライブ中継や録画映像をご覧ください。

詳しくは、議会事務局までお問合せください。

電話番号 86-3150(直通)



井上 和代 議員

町道や農道の整備について

問 町道や農道の整備、管理はどのようになされているのか問う。

答 (町長) 町道・農道の距離は相当あるがその長さ、大島郡の中でも伊仙町が一番長い道路網である。農業生産率を上げ、伊仙町の発展の可能性を上げる為にも町道・農道の整備は今まで以上に必要だと思っている。

(建設課長)

町道に関しては建設課、農道に関して耕地課で維持管理を行っている。町

道の維持管理は、穴ぼこ修理、路肩、のり面崩壊、側溝外盤破損詰まり、除草、伐採、倒木撤去等の修繕依頼やパトロール報告等に対応している。また、集中豪雨や災害が発生した際は、排水路の改善要望箇所や土砂流出が頻繁に起こる箇所など、現地確認を行っている。道路補修等の要望対応は、現地を確認し優先順位を設け修繕に取り組んでいる。

(耕地課長)

耕地課では、農道整備を管理し、畑総区域内であれば、多面的支払機能交付金事業の事業を活用して各組織にて除草作業や道路の補修を行っている。畑総事業は、中部地区が昭和54年度から、東部地区は昭和58年度に事業が開始されており、開始から40年余りが経過しているが、この地区は、今だ未舗装道路が多数ある。この多面的支払機能交付金は、各組織で地区の畑総面積の割合によって分配されている。また、広域のほうで

初期地区等の農道整備について、古い方から予算が回るような検討協議を今後進めていきたいと考えている。



(総務課長)

町道・農道に関するお問い合わせについては判断を迷われた時には、町道・農道問わず建設課、あるいは耕地課、いずれの課においても対応は可能であると考えている。

問

カーブミラーや停止線等の整備について、どのような対策を取られているのか問う。

答

(総務課長) カーブミラー等の交通安全施設については、

各区長からの要望や道路を利用する町民からの要望を受け、現場を調査・確認の上、設置場所として適格か判断し、必要性がある場合は設置しており、交通事故防止に有効になるよう努めている。

また、停止線などの道路標示については、基本的に県公安委員会の設置によるものであり、交通規制や取締りの対象となるものである。



各種大会等の対応について

問 伊仙町として知名度を上げるための取組みが検討できないか問う。

(ぎゅらまち観光課長)

答 昨年度、全国闘牛サミットIN伊仙町大会を担当し、6県9市町が

参加している。9市町自治体名の入ったのぼり旗を作成し、庁舎前の玄関に旗を立てて歓迎し、懇親会場のぼり旗を立て迎えさせていだいた。また、のぼり旗は記念として贈り、参加された自治体からは大変好評であった。今後も職員のアイデア等を取り入れながら知名度の向上に努めていく。



農山漁村振興交付金事業調査特別委員会調査報告

伊仙町面縄地区活性化計画における

【農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション等整備事業)とは】

基幹産業である農業の収益向上、6次産業化による高付加価値化、障がい者・高齢者を雇用した農福連携を目指し、「バレイショ処理加工・集出荷貯蔵施設」や遊休公共施設を活用した「農福連携拠点施設」の整備、圃場規模拡大のため生産機械の導入等を行い、島内の障がい者・高齢者による農業就労や島外から農業就労者を受入れ、農業従事者不足の解消や交流人口拡大を図ることを目的とし、農林水産省より令和4年度から令和6年度までの3カ年を対象として事業の交付決定がなされた事業。

【設置目的】

農山漁村振興交付金事業において、事業進捗に支障が生じ工事が中断されたことから、その詳細を調査し、責任の所在や原因究明することが目的とし、議長を除く委員13人で構成する特別委員会を設置。

【期 間】

令和6年2月5日(月)～令和6年6月14日(金)

【調査の経過】

第1回 令和6年2月26日(月)

伊仙町議会委員会室において、本町経済課長より当該事業の計画から事業実施、事案の発覚、その後の国、県、事業実施主体の協議状況や今後の対応についての説明がなされた。

第2回 令和6年3月12日(火)

伊仙町議会議事堂において、参考人として、(株)奄美ブルー・スカイ代表取締役の榮時弘氏、設計事務委託事業者である永園設計(株)代表取締役の小原正信氏、本町経済課長の3者に出席いただき、調査・聞き取りを行った。

第3回 令和6年6月11日(火)

伊仙町議会議事堂において、13名の委員及びオブザーバーとして前議長が出席し、これまでの調査・聞き取りを元に委員会としての意見を集約した。

【調査結果と今後について】

工事を行う過程で、設計事務所において、建築基準法と建築士法に抵触する違反行為によるものということが分かり、この事案については、組織的かつ意図的なものではなく、一個人によって行われたものであったことが分かった。

その後、県の是正指示の下、適切に事務手続きを進め建築工事が再開され5月22日には工事完了検査を受け事業完了に至っており、6月6日には、バレイショ処理加工・集出荷貯蔵施設「落成式」が執り行われている。

今後は、当該事業の目的、主旨に沿って事業運営がなされ、面縄地区をはじめとした地域の活性化、更には伊仙町の農業振興発展に寄与されることを当委員会としても望むものであり、町当局においても、同様な事案を発生させないよう徹底したチェック体制を取り再発防止に努めていただきたい。

令和6年6月14日

農山漁村振興交付金事業調査特別委員会

委員長 美 島 盛 秀

会計補正予算(第1号)

6,650,411千円に歳入歳出し、歳入歳出予算の総額は、

●畜産生産者支援交付金（国 100%）

30,832千円

子牛価格の暴落が続いている現状を鑑みて、町内畜産農家の経営維持を目的として、令和5年4月から令和6年3月までに出荷及び自家保留された生産頭数に対しての交付金であり、1頭当たり9,400円を交付しました。



●環境教育コーディネーター業務委託料

（国 50%、県 10%、町 40%）

1,800千円

令和5年度は、ふるさと納税を活用して環境教育を行い小中学校3校（面縄小・糸木名小・伊仙中）を対象に実施しました。令和6年度より、奄美群島開発特別措置法を活用して、小中学校5校（面縄小・糸木名小・伊仙中・面縄中・犬田布中）を対象に実施しております。なお、令和7年度より全小中学校にて実施予定としております。



●徳之島病院寄付講座負担金（町単独）

～南三島6町均等割及び患者割～

4,363千円

徳之島病院は、南三島唯一の精神科があり、現在、精神科医が1名、他診療医師が1名で入院・外来を担っていただいておりますが、医師の高齢化により退職等も視野に入れていることから、常駐できる2名の医師を招聘するということで、徳之島病院存続のために南三島6町の間での、昭和大学との寄付講座開設に関する予算であります。



令和6年度伊仙町一般 既定の歳入歳出予算の総額 それぞれ170,344千円を増額 6,820,755千円となりました。

一般会計の主な補正には次のものがあります。

●オンライン英会話業務委託料 (企業版ふるさと納税活用) 6,323千円

ネットを介して、1対1のマンツーマンで英会話授業が行われる予算です。一人ひとりタブレットを持っているので生徒のレベルにあった授業ができ、細かい発音のチェックや、テキストと講師が一画面に表示されるので、集中してレッスンを行うことができます。また、ヘルプボタンによって、生徒と講師のやりとりが円滑に進むようサポートしてくれたり、お互いに画面に書き込めるので、書くコミュニケーションも取ることができます。町内の小学5年生から中学3年生までが対象となり、2学期からスタートします。



●遠隔双方ライブ授業補助金 (国 100%)

3,240千円

将来伊仙町で活躍する人材育成 学びを望む島内の中・高校生(30名程度)を対象に現役大学生による、数学・英語の科目でネットを介した遠隔双方向授業(通称:東大ネット)を実施し、公共の学びの場を提供しています。通常授業が毎週日曜日に行われ、夏期講習・冬期講習も行っております。

令和6年度は、奄美群島成長戦略推進交付金が活用できたため、授業(数学・英語)数を125コマから204コマに増やすことができました。※1コマ(90分)



●奄美らしい離島留学推進事業補助金 (国 50%、県 10%、町 40%) 【伊仙町結び結び留学】

2,424千円

伊仙町で児童数の減少が見込まれる小規模校において全国からの離島留学生を受け入れ、学校や地域の活性化を図る目的としています。里親留学の里親への留学生居住経費・孫型、親戚型、友だち居住経費・家族留学の家族への居住経費及び家賃等の補助を行う予算であります。



議会の動き

令和6年第2回伊仙町議会定例会における諸般の報告（議長の動静）

動静期間：令和6年第1回定例会（3月16日）以降の分

※ 掲載されている行事以外にも、各種協議会及び集落行事等にも出席しておりますが、予めご了承下さい。

月	日	行事名	場所	月	日	行事名	場所
3月	17日	徳之島祭り	兵庫県尼崎市	5月	8日	県町村議会議長会臨時総会・議長研修会	鹿児島市
	25日	令和6年第2回臨時会	議事堂		9日	議員研修会	鹿児島市
	26日	議会議長・事務局長合同会	奄美市		16日	議会全員協議会	議会委員会室
4月	5日	令和6年度小中学校転入教職員宣誓式	中央公民館		17日	令和6年度伊仙町商工会通常総会	中央公民館
	7日	第57回 戦艦大和を旗艦とする特攻艦隊戦没将士慰霊祭	犬田布		21日	議長・副議長研修会	東京
	16日	地域農業総合対策推進協議会総会	徳之島町		24日	徳之島建設業協会懇親会	徳之島町
	11日	議会全員協議会	議会委員会室		26日	第27回全国闘牛サミットin長岡大会	新潟県長岡市
	13日	議会議長・事務局長合同会	奄美市	28日	令和6年度各種協議会総会	奄美市	
	23日	第65回 奄美群島市町村議会議員大会	大和村	6月	6日	パレイショ処理加工・集出荷貯蔵施設 落成式	面縄地区
	26日	令和6年県市町村連携会議	鹿児島市		7日	議会運営委員会(第2回定例会議事日程等)	委員会室
	27日	海開き	瀬田海浜公園		10日	全員協議会	委員会室

鹿児島県町村議会議長会自治功労者表彰



第2回定例会において、令和5年度鹿児島県町村議会議長会永年勤続者(自治功労者)表彰者伝達式が本会議場で行われました。町村議会議員として10年以上在職し功労のあった議員が対象であり、この度、上木千恵造議員・岡林剛也議員が表彰されました。

今後も伊仙町議会の一員として、更なる活躍をご期待します。

編集後記

今年の夏は、例年にならない厳しい暑さが続いており、今後も厳しい暑さが予想されます。最近の気象は、ゲリラ豪雨や南海トラフ地震臨時情報が発令されるなど日頃から防災意識を高めることも大切であると考えます。

新紙幣が発行されたり、パリオリンピックでは、多くの競技でメダルを獲得し、日本中に元氣と勇氣を与えてくれました。

この夏、伊仙町においても、各集落で様々なイベントが開催され、家族や友達と一緒に楽しむ子どもたちの姿が多く見られ大盛況でありました。夏休み期間中、子どもたちは日頃体験できないような活動をする機会がありましたでしょうか。今しかできないことを楽しい思い出として記憶に焼き付けてほしいと願います。

夏休みとはいえ、教育長不在期間がございましたこと、議会の一員として心よりお詫び申し上げます。離島の子どもたちですが、いろいろな面で本土の子どもたちに劣っていないと思っております。限らない可能性を伸ばし、伊仙町の未来を背負う子どもたちを一生懸命教育できるように今後も皆様のご意見に耳を傾けたいと考えております。

令和6年度も折り返し地点に差し掛かりました。ものづくり、まちづくりは同じと考へがちですが、ものづくりには終わりがありません。まちづくりには終わりがありません。町民の皆さん一人ひとりのチカラで明るい未来を、そして、元氣な伊仙町を築いていきましょう。

今後とも伊仙町議会に對しましてたくさんのご要望、ご助言等よろしくお願ひ申し上げます。

(文責 永田 誠)

議会広報編集委員会



- 発行責任者 議長 前 徹志
- 委員長 大河 善市
- 副委員長 井上 和代
- 委員 永田 誠
- 委員 清田 平二
- 委員 杉山 肇